

授業科目 相談援助実習指導Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	社会
松山 茂樹		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】					
本授業は、3年時前期で行う「相談援助実習Ⅲ」の事前学習として位置付け、配属実習が円滑かつ有効に行われることを意図としている。概要としては、相談援助実習の目的・意義・内容等を正しく理解するとともに、実習意欲の涵養・助長を図るものとする。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談援助実習の意義及び目的等を理解する。 2. 相談援助に共通する援助技術について理解を深める。 3. 相談援助実習の行われる機関・施設等の対象となる利用者について理解を深める。 4. 相談援助実習の行われる機関・施設等の原状と課題について把握するとともに、考察する。 5. 社会人・組織人としての一般的なマナーや基本的な接遇マナーについて習得する。 6. 福祉専門職（社会福祉士）が相談援助に関わる意義について理解する。 7. プライバシーの尊重等、利用者の権利擁護について深く理解する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス（授業の進め方、内容と方法、留意事項等）				講義・グループ別指導
2	社会福祉士の活躍の場と資格取得に必要な学習のプロセス				講義・グループ別指導
3	相談援助実習の意義と理解				講義・グループ別指導
4	相談援助実習指定施設及び事業				講義・グループ別指導
5	実習施設等の現状と課題1（相談機関・福祉事務所等）				講義・グループ別指導
6	実習施設等の現状と課題2（児童福祉施設）				講義・グループ別指導
7	実習施設等の現状と課題3（社会福祉協議会）				講義・グループ別指導
8	実習施設等の現状と課題4（医療機関等）				講義・グループ別指導
9	実習施設等の現状と課題5（身体障害福祉施設等）				講義・グループ別指導
10	実習施設等の現状と課題6（知的障害福祉施設等）				講義・グループ別指導
11	実習施設等の現状と課題7（入所型高齢者福祉施設）				講義・グループ別指導
12	実習施設等の現状と課題8（地域型高齢者福祉施設）				講義・グループ指導
13	個人情報保護と守秘義務				講義・グループ別指導
14	接遇マナー				講義・グループ別指導
15	まとめ				グループ別指導
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		社会福祉士相談援助実習	監修 社団法人日本社会福祉士養成 校協会	中央法規出版株式会社	2009・2,600円
参考書					
その他の資料		現場実習の手引き	新潟医療福祉大学		
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況、レポート等で評価		3年前期で行う「相談援助実習Ⅲ」の履修には、本授業及び相談援助実習指導Ⅱの履修が前提となるものであること。			